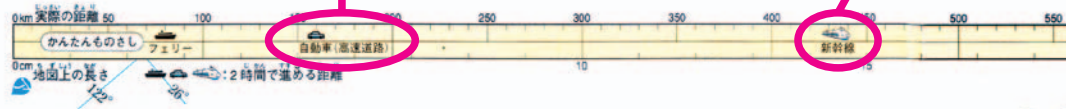


いろいろな乗り物で  
距離を感じるのだね



運送会社などに連絡して  
実際にどのくらいの時間か  
かかるのか確かめてみるの  
もおもしろいよ

どうしたら地図で  
距離をはかれるかな？



まず、ひもを石垣  
と那精の間にあてて  
みよう。

そのままひもを  
「かんたんものさし」  
にあててみると  
わかるよ。

やってみよう③  
距離をはかろう



やってみよう⑨  
農産物や水産物は  
どうやって届くのかな？



農産物を2回から3つ選  
んであなたの住んでいる  
都道府県まで運ぶルート  
をたどってみよう。

トラックやフェリーで  
運ぶのがいいと思うよ。  
飛行機で運ぶ方法も  
あるね。



① 高速道路とフェリー航路  
200m 2001(平成13)年現在



好きな食べ物  
がどこから  
くるのかな？

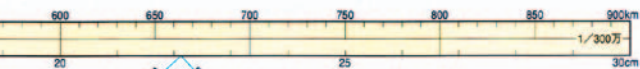


たか  
高い山がとって  
3,000mより高  
さが探して、しるし  
みよう。



## 作業することで地図帳がまたオモシロクなる！

愛知教育大学助教授 寺本 潔



距離をはかった結果  
石垣島～那覇 \_\_\_\_\_ km  
台北～石垣島  
(台湾の都市) \_\_\_\_\_ km  
みんなの住んでいるところから400kmはなれたところにある市や町を2つ探そう！

必ず同じ縮尺の地図の上で測った結果を比べるんだね



帝国書院『小学生の地図（最新版）』（p.11～12）

自分の県の大きさと比べてイメージできるといいわね



やってみよう⑦  
大きさをくらべてみよう

くわしい地図（100万分の1）から、みんなの住んでいる県（都府）の形をうす紙にうつしとって十勝平野に重ねて広さをくらべてみよう。



お山も多だね。い山を5つつけて



帝国書院『小学生の地図（最新版）』（右：p.43、左：p.55）

地図を使って「作業する」ことを指導していますか？ とすれば「話し合い」や「生産地の工夫や努力」「農家の人の思いや願い」など、「思考」や「関心・態度」の育成にばかり、時間をとられていませんか。地図で身につく「知識理解」や「資料活用能力」つまり、手を動かして「見つけたよ！」「あっ、わかった！」と作業実感的な理解につながる体験はどのくらいやっていますか。地図を使って作業を行うことは、児童の空間的理解力の育成にとっても大切な学習機会になります。作業で身につけた力は、確かな学力にもつながるので軽視できません。地図帳を使って作業学習を進めるポイントには次の三つが考えられます。

- ①長さを測る学習（海岸線や山脈、河川、都市間などの長さを縮尺を参照しながら定規やひもで測る作業）
- ②高さを調べる学習（ある地点の標高や緯度経度などを調べ、地形模型や地球儀上でその地点の土地利用や気候を確かめる作業）
- ③大きさを比べる学習（複数の地域の大きさや形を写しとって比べたり、面積の数値をグラフ化したり、校庭に実寸で線引きしたりする作業）

地図帳には「やってみよう」コーナーもあり、児童が自分で試みる方法が示されています。指導者は「こんなこともできるね」と地図帳活用を一步深めるひと工夫を示してほしいものです。

